学校教育目標　「進んで学ぶ子・心の豊かな子・明るく元気な子」

狭山小だより

「誰からも信頼される、明るく元気な学校」

令和６年度
第８号
１１月２６日発行
児童数３６０名
TEL　04(2934)2077

研究の成果、ここにあり！

～　子供たちは、よくがんばっています。　～

校　長　　田 島　浩

12月

あと数日で１１月が終わり、早いもので令和６年の最後「師走」になります。何かと慌ただしい時期になりますが、学習や生活のまとめを行いながら、落ち着いた学校生活が送れるよう指導します。

さて、１１月８日（金）に入間市教育委員会・入間市教育研究会の委嘱を受けた**「研究発表会」**が本校で開催されました。**『進んで学び合う児童の育成』を研究テーマ**とし、「算数科を中心に、学ぶ楽しさを実感させる授業実践」を副題とした２年間にわたる研究を発表しました。来賓や市内小中学校の教員、本校職員を合わせて約１００名の中、公開授業を行いました。

２年１組は担任と教科指導員の２名で、５年生は２クラスを３つに分け１名ずつの教員が習熟度別学習で授業しました。本校が推進している**「学び合い」**を中心にして、わからないことは何でも訊ける雰囲気がありました。また**「ジャンプ課題」**には、目を輝かせながら取り組む姿が見られました。

研究主任の田中教諭から、全体会で本校の取組について発表しましたが、子供たちの変容をお伝えします。

＜質問項目＞

①　学び合いによって、進んで学ぶことができましたか。
②　学び合いによって、楽しく学ぶことができましたか。
③　ジャンプ課題に、進んで取り組むことができましたか。
④　ジャンプ課題で、楽しく学ぶことができましたか。

＜回答結果＞　「できた・どちらかというとできた」の割合

	①	②	③	④
令和６年７月	８７％	９１％	７８％	８２％
令和６年３月	８４％	８９％	７０％	７１％

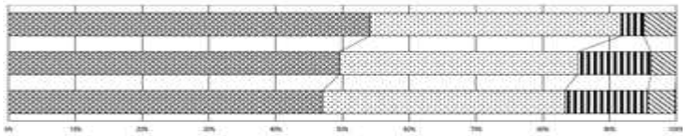
＜考察＞

・多くの子供たちが進んで楽しく学ぶことができた。そして、ジャンプ課題は、特に研究の成果を発揮できた。

＜質問項目＞全国学力・学習状況調査（第６学年）

〇算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか。

＜回答結果＞　「よくあった・ときどきあった」の割合



狭山小	９１．８％
埼玉県	８５．２％
全　国	８３．３％

＜考察＞

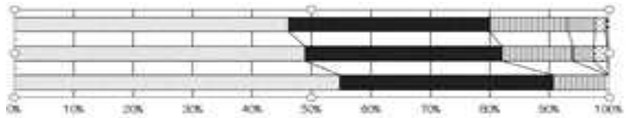
・全国平均や県平均を、ともに上回る結果になった。ジャンプ課題を通して、粘り強さが身についた。

＜質問項目＞埼玉県学力・学習状況調査

〇課題の解決に向けて、話し合ったり交流したりしたことで、自分の考えをしっかりもてるようになったこと。

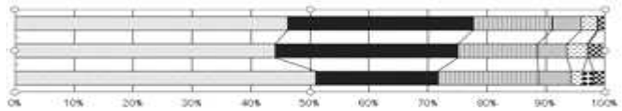
＜回答結果＞　「よくあった・ときどきあった」の割合

令和６年第５学年



埼玉県	８０．０％
入間市	８２．０％
狭山小	９０．５％

令和５年第４学年



埼玉県	７７．６％
入間市	７５．２％
狭山小	７１．７％

＜考察＞

・現５年生が４年生の時には、自分の考えをもてるようになった子供は県平均より5.9ポイント下回っていた。しかし研究を推進したことで、現在は県平均を10.5ポイントも上回った。何でも訊き合える関係や心理的安全性が構築できた。

１１月の学校生活

１２月の生活目標「整理整頓をしよう。」

【市内音楽会（６年）】１１月１３日（水）

武蔵野音楽大学バッハザールで、　見事な合唱や合奏を披露してくれました。鑑賞態度も素晴らしかったです。指導者からもお褒めの言葉をいただきました。「東京ｽｶﾊﾟﾗﾀﾞｲｽｵｰｹｽﾄﾗの『Paradise Has No Border』は、聴いている人たちの心をわしづかみにしました。一緒に盛り上がりたかったです。」という感想をいただきました。

狭山小学校のHPにある「校長のひとり言」をご覧ください。ほぼ毎日更新し、子供たちの学校生活の様子をお伝えしています。